

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
23401	食物アレルギーの医学・基礎と対応 Medical Science on Food Allergy : Basic Knowledge & Treatment	大島 美穂子	専門	2	選択	1年 後期
科目の概要						
この授業では食物アレルギーについて医学的に学び、食物アレルギーについて正しく理解することをめざす。それにより、食物アレルギー児に適切な除去食を提供できるようになることと、健やかな成長をめざした的確な食事指導ができるようになること目的とする。授業では食物アレルギーの起きる仕組みや原因食品及びアレルゲン、検査と診断並びに除去食、食事指導、薬物治療などについて総合的に学ぶ。						
学修内容			到達目標			
① 食物アレルギーの仕組み、診断、原因食品について知り、説明できるようになることを目的とする。 ② 除去食、栄養指導について学び、実施することができるようにする。 ③ アレルギー症状の治療について学ぶ。			① 食物アレルギーの仕組み、診断、原因食品を理解し、説明することができる。 ② 除去食を含めた栄養指導を行うことができる。 ③ アレルギー症状の治療について理解し、説明することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	授業には能動的に参加し教員の質問には積極的に答えようと努力できる。				
	働きかけ力					
	実行力	授業中に解答できなかった問題・課題を放置せず、理解を目指し取り組むことができる。				
考え抜く力	課題発見力	正しく理解するための情報収集や分析ができる。				
	計画力					
	創造力	得た知識をどのように活用するか常に意識し、解決策を作り出すことができる。				
チームで働く力	発信力	相手がどのような情報を求めているかを理解して伝えることができる。				
	傾聴力	講義内容を丁寧に聞き取り理解するよう努力できる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	遅刻、私語、居眠りなど講義に支障をきたす行動をせず、ルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:「これだけでわかる食物アレルギー」宇理須厚雄・伊藤浩明監修／(株)みらい 3,000円						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連: 食事療法論Ⅱ、食事療法実習Ⅱ、病理学、生理学、解剖学、栄養学、食品学などが関連する。 資格との関連: 栄養士						
学修上の助言			受講生とのルール			
・食物アレルギーを持つ子どもは5%にのぼるといわれ、頻度の高い疾患です。実際に自分が食物アレルギーを持つ子どもたちとかわる際にどう対応すればいいかを想定しながら受講してください。			・携帯電話の電源は切り、カバンにしまっておくこと。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	80	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎内容を理解しているか評価する。 ・基本概念や語句の理解を試す問題を出題し評価する。 ・次の到達レベルをもって合格の基準とする。 食物アレルギーの仕組み、検査と診断、各アレルゲンの特徴、食事指導の方法を正確に理解し、食事指導することができる。・・・S 食物アレルギーの仕組み、検査と診断、各アレルゲンの特徴、食事指導の方法を説明できる。・・・A 食物アレルギーの仕組み、検査と診断、各アレルゲンの特徴、食事指導の方法がわかる。・・・B 食物アレルギーの仕組み、検査と診断、各アレルゲンの特徴がわかる。・・・C Cのレベルに達していない。・・・D
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
小テスト	10	①	✓	第13週までの内容について理解度を確かめるために小テストを行い評価する ①授業内容を理解できているか確認する。 ②穴埋め問題を中心に、記述問題も出題する。 出題範囲は、第13週までの授業内容とする。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(傾聴力、課題発見力、主体性) ・毎週の授業の最後に行う確認プリントから、「興味・関心」「授業への参加度」「学習意欲」「知識・理解」を評価する。 (実行力、創造力、発信力) ・栄養指導を計画しわかりやすく説明できる。 (規律性) ・遅刻、無断欠席、授業に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
S の目安:食物アレルギー・食事指導の方法を完璧に理解し、栄養指導ができる。 A の目安:食物アレルギー・食事指導の方法を完璧に理解し、栄養指導の留意点を説明できる。	B の目安:食物アレルギー・食事指導の方法をほぼ理解し、食物アレルギーについて説明ができる。 C の目安:食物アレルギー・食事指導の方法をほぼ理解し、基本的な用語がわかる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	アレルギーとは何か、アレルギーの仕組み、食物アレルギーとは何かを学ぶ。	講義 確認プリント提出	食物アレルギーとは何かを説明できる。	予習:テキストP2-4 復習:確認プリントの見直し	60 60	主体性 傾聴力 規律性
2週 /	食物アレルギーの原因食品、病型、症状について学ぶ。	講義 確認プリント提出、 答え合わせ	食物アレルギーの原因食品、病型を説明できる。	予習:テキストP5-7 復習:確認プリントの見直し	60 60	主体性 傾聴力 規律性
3週 /	食物アレルギーの検査と診断(血液検査・皮膚検査・経口負荷試験など)について学ぶ。	講義 確認プリント提出、 答え合わせ	食物アレルギーの検査法と診断手順を説明できる。	予習:テキスト P8-10、 復習:確認プリントの見直し	60 60	主体性 傾聴力 規律性
4週 /	食物アレルギーの耐性獲得、アレルゲン除去食、食事指導、経口免疫療法について学ぶ。	講義 確認プリント提出、 答え合わせ	アレルゲン除去食の原則を説明できる。	予習:テキスト P10-12、 復習:確認プリントの見直し	60 60	主体性 傾聴力 規律性
5週 /	食物アレルギーの薬物治療、アナフィラキシーの症状と対応、エピペンについて学ぶ。	講義 確認プリント提出、 答え合わせ	アレルギー治療薬の種類と働きを説明できる。	予習:テキスト P12-14、 復習:確認プリントの見直し	60 60	主体性 傾聴力 規律性
6週 /	アレルゲン、タンパク質の性質と構造、コンポーネントについて学ぶ。	講義 確認プリント提出、 答え合わせ	タンパク質の性質、コンポーネントについて説明できる。	予習:テキスト P18-28、 復習:確認プリントの見直し	60 60	主体性 傾聴力 規律性
7週 /	鶏卵アレルギーについて(アレルゲンの特徴、症状の特徴など)学ぶ。	講義 確認プリント提出、 答え合わせ	鶏卵アレルギーの特徴を説明できる。	予習:テキスト P30-32、 復習:確認プリントの見直し	60 60	主体性 傾聴力 規律性
8週 /	牛乳アレルギーについて(アレルゲンの特徴、症状の特徴など)学ぶ。	講義 確認プリント提出、 答え合わせ	牛乳アレルギーの特徴を説明できる。	予習:テキスト P32-36、 復習:確認プリントの見直し	60 60	主体性 傾聴力 規律性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	小麦、米、ソバアレルギーについて(アレルゲンの特徴、症状の特徴など)学ぶ。	講義 確認プリント提出、 答え合わせ	小麦、米、ソバアレルギーの特徴を説明できる。	予習:テキスト P36-39、 復習:確認プリントの見直し	60 60	主体性 傾聴力 規律性
10週 /	肉類、魚類、魚卵アレルギーについて(アレルゲンの特徴、症状の特徴など)学ぶ。	講義 確認プリント提出、 答え合わせ	肉類、魚類、魚卵アレルギーの特徴を説明できる。	予習:テキスト P48-52、 復習:確認プリントの見直し	60 60	主体性 傾聴力 規律性
11週 /	大豆、ピーナッツ、ナッツ類、ゴマアレルギーについて(アレルゲンの特徴、症状の特徴など)学ぶ。	講義 確認プリント提出、 答え合わせ	大豆、ピーナッツ、ナッツ類、ゴマアレルギーの特徴を説明できる。	予習:テキスト P40-46、 復習:確認プリントの見直し	60 60	主体性 傾聴力 規律性
12週 /	果物、野菜アレルギーについて(アレルゲンの特徴、症状の特徴など)学ぶ。	講義 確認プリント提出、 答え合わせ	果物、野菜アレルギーの特徴を説明できる。	予習:テキスト P46-48、 復習:確認プリントの見直し	60 60	主体性 傾聴力 規律性
13週 /	保育園、幼稚園、学校でのアレルギー対応(給食対応、行事)における配慮について学ぶ。	講義 確認プリント提出、 答え合わせ	園や学校でのアレルギー対応について説明できる。	予習:テキスト P86-94、118-121、 復習:確認プリントの見直し	60 60	主体性 傾聴力 規律性
14週 /	1-13回のまとめ	小テスト 講義	前週までの内容を理解できている。	予習:前週までの復習	90	実行力 課題発見力
15週 /	除去食と食事指導の実際について学ぶ。	小テスト答え合わせ 講義	アレルゲン除去食や食事指導の留意点を説明できる。	予習:前週までの復習、 復習:小テストの見直し	60 180	主体性 傾聴力 規律性 創造力 発信力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力